

アジア・ハイ・イールド債券ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジなしコース

【商品分類】 追加型投信/海外/債券

【設定日】 2011年10月7日

【決算日】 原則、毎月10日

運用実績

基準価額および純資産総額

基準価額	9,968円
純資産総額	3.02億円

※ 基準価額は、分配金控除後です。

期間別騰落率

	当ファンド
過去1か月間	-1.18%
過去3か月間	-0.66%
過去6か月間	4.58%
過去1年間	6.32%
過去3年間	12.43%
過去5年間	24.46%

設定来 129.53%

※ ファンドの騰落率は、当ファンドに分配実績があった場合に、税引前の分配金を再投資したものと計算しており、実際の騰落率とは異なります。

※ 設定来のファンド騰落率は、10,000円を基準として計算しております。

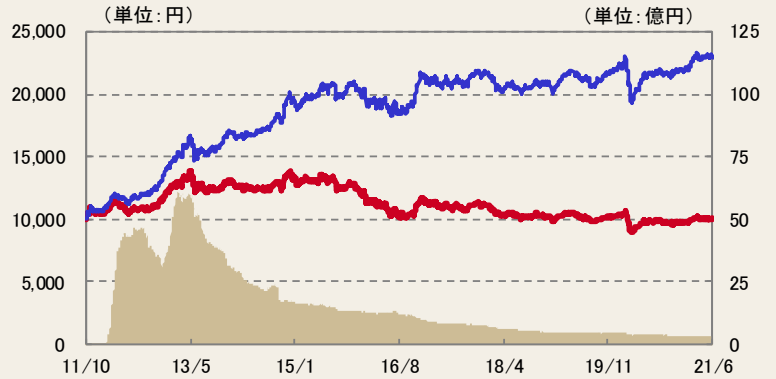
分配実績(直近5期分/1万口当たり、税引前)

2021年02月	40円
2021年03月	40円
2021年04月	40円
2021年05月	40円
2021年06月	40円
直近1年間累計	480円
設定来累計	9,660円

※ 収益分配金額は委託会社が決定します。分配を行わないこともあります。

基準価額・純資産の推移

2011/10/07~2021/06/30



純資産総額(右軸) 基準価額(左軸) 基準価額(税引前分配金再投資)(左軸)

- ※ 基準価額(税引前分配金再投資)は、分配実績があった場合に、税引前の分配金を決算日の基準価額で再投資したものと計算しております(以下同じ)。
- ※ 基準価額及び基準価額(税引前分配金再投資)の計算において信託報酬(後掲「ファンドの費用」参照)は控除されております(以下同じ)。
- ※ 当ファンドは、ベンチマークを設定しておりません。
- ※ 分配実績がない場合、あるいは設定来累計の分配金額が少額の場合、基準価額及び基準価額(税引前分配金再投資)のグラフが重なって表示される場合があります。

構成比率

	純資産比
Nikko AsiaHighYieldBondFund 5	96.00%
マネーブルマザーファンド	1.01%
コール・ローン等	2.99%

投資信託証券(日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド)

本項目は、日興アセットマネジメント アジア リミテッドが作成したデータを掲載しております。

構成比率

	純資産比
債券等	86.2%
現金等	13.8%

ポートフォリオの状況

クーポン	7.4%
最終利回り	8.9%
修正デュレーション(年)	5.4
平均格付	B

- ※ 平均格付とは、当ファンドが保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当ファンドに係る信用格付ではありません。
- ※ 最終利回りは、ファンド組入銘柄等の利回りの加重平均等により算出したものであり、ファンド全体の期待利回りを示すものではありません。

組入上位銘柄

銘柄名	クーポン	償還日	国・地域	業種	格付	純資産比
1 RONGXINGDA DEVELOPMENT (BVI) LTD. 8.95% 18-JAN-2022	8.950%	2022/01/18	中国	不動産	BB	5.1%
2 REDCO PROPERTIES GROUP LTD. 8.5% 19-AUG-2021	8.500%	2021/08/19	中国	不動産	B	3.8%
3 ZHONGLIANG HOLDINGS GROUP CO., LTD. 11.5% 26-SEP-2021	11.500%	2021/09/26	中国	不動産	B	3.7%
4 SMC GLOBAL POWER HOLDINGS CORP. 6.5% PERP	6.500%	永久債	フィリピン	電力	B	3.5%
5 CHONG HING BANK LIMITED 5.7% PERP	5.700%	永久債	中国	銀行	BB	3.2%
6 ZHENRO PROPERTIES GROUP LIMITED 10.25% PERP	10.250%	永久債	中国	不動産	B	3.1%
7 NWD FINANCE (BVI) LTD. 4.125% PERP	4.125%	永久債	香港	不動産	BB	2.6%
8 RONSHINE CHINA HOLDINGS LTD. 8.1% 09-JUN-2023	8.100%	2023/06/09	中国	不動産	BB	2.4%
9 AGILE GROUP HOLDINGS LIMITED 8.375% PERP	8.375%	永久債	中国	不動産	BB	2.4%
10 ZHENRO PROPERTIES GROUP LIMITED 8.35% 10-MAR-2024	8.350%	2024/03/10	中国	不動産	B	2.3%
組入銘柄数						53銘柄

※ 格付は、S&P 及びムーディーズのうち、最上位の格付を採用しています。格付のない発行体については、日興アセットマネジメント アジア リミテッドの社内格付を採用しています。

※ 償還日が「永久債」の銘柄は償還日の定めのない銘柄です。

アジア・ハイ・イールド債券ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジなしコース

国・地域別構成比率

国・地域	純資産比
中国	59.4%
インド	7.2%
フィリピン	5.8%
香港	3.6%
タイ	2.8%
オーストラリア	2.3%
シンガポール	1.5%
マカオ	1.4%
ベトナム	1.4%
その他	0.9%

業種別構成比率

業種	純資産比
不動産	55.7%
銀行	11.8%
電力	4.9%
各種金属・鉱業	3.4%
ホテル	2.9%
建設・土木	2.3%
不動産投資信託	1.5%
代替資源	1.2%
鉄鋼	0.9%
その他	1.6%

格付別構成比率

格付	純資産比
BBB	0.6%
BB	37.3%
B	48.4%

<ご参考> 投資信託証券価額の変動要因

債券	為替等
-1.7%	0.9%

※ 「為替等」は、為替取引・為替変動に加え、各種コストが含まれます。
 ※ 上記数値は、ご参考として、簡便法により月間の投資信託証券価額の変動率(現地月末ベース)を主な要因に分解したものであり、概算値です。

組入上位銘柄の紹介

組入銘柄	銘柄紹介
1 RONGXINGDA DEVELOPMENT (BVI) LTD. 8.95% 18-JAN-2022	栄興達発展BVI (RongXingDa Development BVI Ltd) は不動産会社。投資先資産を管理し、それらの資産に関連するサービスを提供。
2 REDCO PROPERTIES GROUP LTD. 8.5% 19-AUG-2021	レドコグループ (Redco Group Limited) は不動産開発会社。住宅地区、オフィスビル、ホテル、レストラン、その他関連分野の開発、販売に従事。不動産管理とホテル運営サービスも提供している。
3 ZHONGLIANG HOLDINGS GROUP CO., LTD. 11.5% 26-SEP-2021	ジョンリヤン・ホールディングス・グループは、不動産開発会社。高層住宅、低層アパート、別荘、商業施設、オフィスビル、およびその他関連分野の開発と販売を手掛ける。不動産管理サービスも提供。
4 SMC GLOBAL POWER HOLDINGS CORP. 6.5% PERP	SMCグローバルパワーホールディングス (SMC GLOBAL POWER HLDGS) は、電力会社。フィリピン複合企業サンミゲルの電力子会社で、電力の供給等を行う。
5 CHONG HING BANK LIMITED 5.7% PERP	創興銀行 [チョンヒン銀行] (Chong Hing Bank Limited) は、銀行業務ならびに関連サービスに従事。香港、中国本土、米国に支店を持つ。

※ 上記内容は、組入銘柄の紹介を目的として運用委託会社からの情報を基に弊社が作成しており、記載銘柄の推奨を行うものではありません。
 ※ 上記内容は、作成段階で入手しうる情報をもとに作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。
 ※ 当ファンドでは銘柄入替を行うことがあるため、現在の銘柄と異なる場合があります。

マネープールマザーファンド

構成比率(マザーファンド)

	純資産比
コール・ローン等	100.00%

種類別構成比率(マザーファンド)

種類	純資産比
-	-

組入上位10銘柄(マザーファンド)

銘柄名	種類	償還日	純資産比
1 -	-	-	-
2 -	-	-	-
3 -	-	-	-
4 -	-	-	-
5 -	-	-	-
6 -	-	-	-
7 -	-	-	-
8 -	-	-	-
9 -	-	-	-
10 -	-	-	-

組入銘柄数 銘柄

アジア・ハイ・イールド債券ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジなしコース

<ご参考>

為替騰落率

通貨(対円)	基準日終値	過去1ヶ月	ファンド設定来
米ドル	110.58	0.75%	44.15%

為替レートの推移(対円)

2011/10/07~2021/06/30



アジアハイールド社債指数の推移、利回り等

アジアハイールド社債の騰落率

ハイールド社債	基準日終値	過去1ヶ月	ファンド設定来
アジアハイールド社債	229.42	-1.27%	129.42%
(ご参考)米国ハイールド社債	201.78	1.36%	101.78%
(ご参考)欧州ハイールド社債	207.98	0.58%	107.98%

	基準日	1ヶ月前	ファンド設定時
利回り	7.13%	6.85%	12.98%

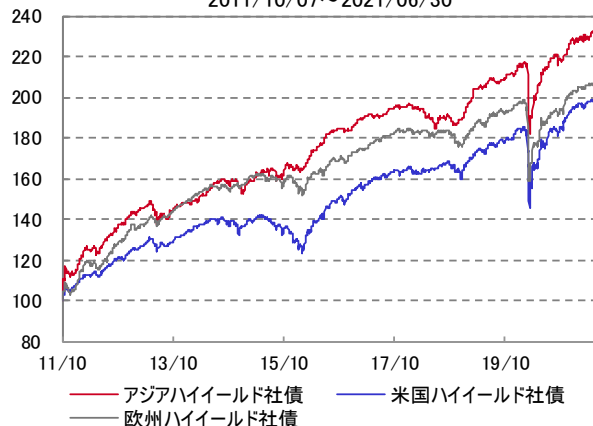
アジアハイールド社債指数と利回りの推移

2011/10/07~2021/06/30 (単位:%)



ハイールド社債指数の推移

2011/10/07~2021/06/30



ハイールド社債利回りの推移

(単位:%) 2011/10/07~2021/06/30



※ 出所: Bloomberg

※ ハイールド社債指数は2011年10月7日の数値を100として指数化しております。(アジアハイールド社債、米国ハイールド社債はUSD建て、欧州ハイールド社債はユーロ建て)

※ アジアハイールド社債: JPモルガン・アジア・クレジットインデックス(BB格以下・社債) ・ 米国ハイールド社債: ICE BofA・USハイ・イールド・マスターII・コンストレインド・インデックス

※ 欧州ハイールド社債: ICE BofA・ヨーロッパ・カレンシー・ハイ・イールド・コンストレインド・インデックス

※ 上記の指数はベンチマークではありません。

※ JPモルガン・アジア・クレジットインデックス(BB格以下・社債)は、JPモルガン・セキュリティーズ・インクが公表しているインデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属します。

※ ICE BofA・USハイ・イールド・マスターII・コンストレインド・インデックス、及び、ICE BofA・ヨーロッパ・カレンシー・ハイ・イールド・コンストレインド・インデックスは、ICE Data Indices, LLC、その関係会社(「ICE Data」)及び/又はその第三者サプライヤーの財産であり、SOMPOアセットマネジメント株式会社による使用のためにライセンスされています。ICE Data及びその第三者サプライヤーは、その使用に関して一切の責任を負いません。

※ 休日の場合は直近の指数値を表示しております。

アジア・ハイ・イールド債券ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジなしコース

ファンド運用概況 日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド

○市場動向

6月のアジア・ハイ・イールド債券市場のリターンは、JP モルガン・アジア・クレジット・インデックス (BB 格以下、社債、トータルリターン、ドルベース) で 1.27% のマイナスとなりました。

米国債券市場は上昇しました。米国では、FRB (米連邦準備理事会) による政策金利の引き上げ開始時期に関して、前倒し観測が高まったものの、雇用関連指標が市場予想を下回ったことを受けてインフレ懸念が後退し、米国国債利回りは低下 (価格は上昇) しました。

アジア・ハイ・イールド債券市場のクレジットスプレッドについては、中国企業の債務問題に対する懸念がくすぶり続けたこと等が要因となって拡大しました。

インデックスの利回りは、5月末は 6.85% に対して 6 月末は 7.13% へ上昇しました。また、クレジットスプレッドは、5 月末の 5.47% に対して 6 月末は 5.83% となり、拡大しました。

為替市場では、ドル円相場は円安ドル高となりました。米国で利上げ前倒し観測が高まったこと等を受けてドル高が進んだことや、リスク選好的な市場環境下で円が総じて軟調に推移したことから、6 月は円安ドル高となりました。

○運用経過

6 月は、アジア・ハイ・イールド債券市場のクレジットスプレッドが拡大したことを主因に、債券投資はマイナスとなりました。

○今後の運用方針 (基準日以降の情報を含む場合があります。)

世界的に政策対応が実施される中、新型コロナウイルス向けのワクチン接種の普及に伴って徐々に景気が回復すれば、アジア・ハイ・イールド債券市場においてはクレジットスプレッドが縮小する余地があると見ています。米国の金融緩和政策の正常化の時期等に関しては、引き続き市場の注目を集める展開を見込んでおり、市場の価格変動性が高まると見ています。当ファンドでは、市場動向を注視しながら引き続きクレジットの質を重視するとともに、当面先行きの不透明な市場環境が続く見込みであることを考慮し、価格変動性が高い銘柄等の組み入れを抑制するなど、慎重なポートフォリオ運営を行う方針です。

(「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の運用会社からの情報を基に当社が作成)

※ 運用経過は当該ファンドの現地月末基準でのコメントです。

通貨見通し

ドル円については、米長期金利の上昇が一服していることや、米国のマネタリーベースが過去最大規模に拡大していることなどが、ドル安圧力になると予想します。一方で、米国経済の早期回復期待や FRB の金融緩和策の正常化観測がドルを下支えすると考えることから、ドル円は横ばい圏での推移を見込みます。

(当社が作成)

アジア・ハイ・イールド債券ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジなしコース

| ファンドの特色

- 1 主として日本を除くアジア（オセアニアを含む）のハイ・イールド債券（米ドル建て等）を実質的な主要投資対象とし、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目指します。
 - ファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。
 - 「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス5）」および「マネー・プールマザーファンド」を主要投資対象とします。
 - 原則として、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス5）」への投資比率を高位に保ちます。
 - 「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス5）」の運用は、日興アセットマネジメント アジア リミテッドが行います。
- 2 主要投資対象とする投資信託証券の組入れ外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
- 3 原則、毎月10日（休業日の場合は翌営業日）の決算時に収益の分配を行います。
 - 分配対象収益が少額の場合は分配を行わないことがあります。

| 投資リスク

《基準価額の変動要因》

当ファンドの基準価額は、組入れられる有価証券等の値動き等による影響を受けますが、これらの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属いたします。したがって、投資者の皆様への投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金とは異なります。

当ファンドの主なリスクは以下のとおりです。

※基準価額の変動要因は、以下に限定されるものではありません。

◆ 価格変動リスク

公社債の価格は、国内外の政治・経済情勢、金融政策等の影響を受けて変動します。一般に、金利が上昇すると、公社債の価格は下落します。組入れている公社債の価格の下落は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

◆ 信用リスク

公社債の価格は、発行体の財務状態、経営、業績等の悪化及びそれらに関する外部評価の悪化等により下落することがあります。組入れている公社債の価格の下落は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

また、発行体の倒産や債務不履行等の場合は、公社債の価値がなくなることもあり、ファンドの基準価額が大きく下落する場合があります。

なお、当ファンドが投資信託証券を通じて組入れるハイ・イールド債券は、一般に投資適格の債券に比べ、発行体の業績等の悪化や景気動向等による価格変動が大きく、発行体の倒産や債務不履行等が生じるリスクが高いと考えられます。

◆ 流動性リスク

国内外の政治・経済情勢の急変、天災地変、発行体の財務状態の悪化等により、有価証券等の取引量が減少することがあります。この場合、ファンドにとって最適な時期や価格で、有価証券等を売買できないことがあり、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

また、取引量の著しい減少や取引停止の場合には、有価証券等の売買ができなかったり、想定外に不利な価格での売買となり、ファンドの基準価額が大きく下落する場合があります。

なお、当ファンドが投資信託証券を通じて組入れるハイ・イールド債券は、一般に投資適格の債券に比べ、市場規模や取引量が小さく、流動性が低いと考えられます。

◆ 為替変動リスク

外貨建資産の価格は、当該外貨と日本円との間の為替レートの変動の影響を受けて変動します。

為替レートは、各国の政治・経済情勢、外国為替市場の需給、金利変動その他の要因により、短期間に大幅に変動することがあります。当該外貨の為替レートが、円高になった場合は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

◆ カントリーリスク

一般的に、主要先進国以外の国では、主要先進国に比べて、経済が脆弱である可能性があり、国内外の政治・経済情勢、取引制度、税制の変化等の影響を受けやすく、また市場規模や取引量が小さいこと等から有価証券等の価格がより大きく変動することがあり、ファンドの基準価額が大きく下落することがあります。

《その他の留意点》

- ◆ クーリングオフ制度（金融商品取引法第37条の6）の適用はありません。

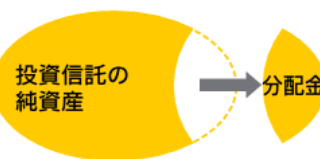
詳細については、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

アジア・ハイ・イールド債券ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジなしコース

投資信託の収益分配金に関する留意事項

●分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ

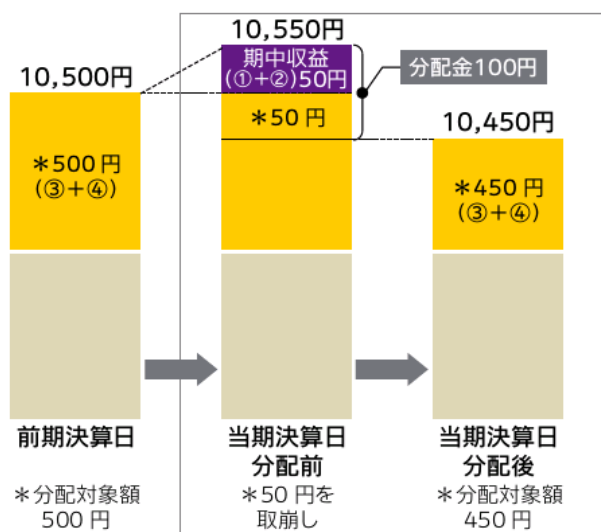


●分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。

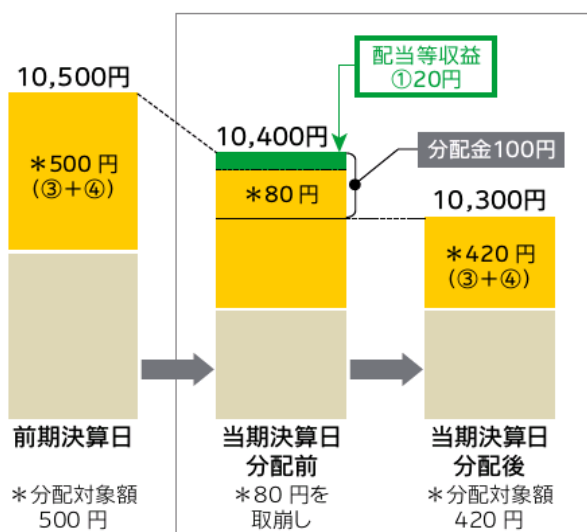
また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合



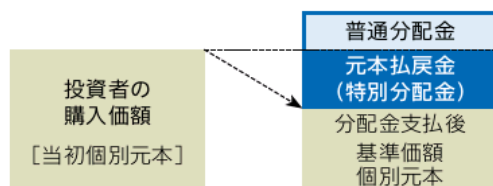
(注) 分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。分配対象額は、以下①～④です。

①経費控除後の配当等収益、②経費控除後の評価益を含む売買益、③分配準備積立金、④収益調整金

※上記はイメージです。実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意下さい。

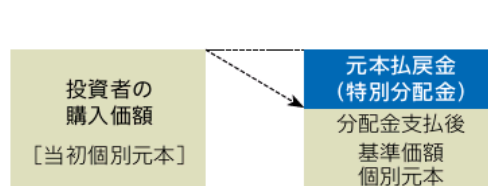
●投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金) 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、後掲の「●税金」をご参照ください。

アジア・ハイ・イールド債券ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジなしコース

お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 ※ 詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	販売会社が定める日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位 ※ 詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。
換金価額	換金請求受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した額
換金代金	換金請求受付日から起算して、原則として8営業日目からお支払いします。 換金の申込金額が多額であると判断した場合、主要投資対象とする投資信託証券の解約および換金の停止ならびに基準価額算出の中止、取引所における取引の停止等※その他やむを得ない事情により、有価証券の売却（主要投資対象とする投資信託証券の解約または換金を含みます。）や売却代金の入金が遅延したとき等は、換金代金の支払いを延期する場合があります。 ※外国為替取引の停止、決済機能の停止、取引市場における流動性が極端に減少した場合、取引市場の混乱、自然災害、テロ、大規模停電、システム障害等により基準価額の算出が困難となった場合、投資対象国等における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、税制の変更、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等）による市場の閉鎖または流動性の極端な減少もしくは資金決済に関する障害等をいいます。以下同じ。
申込不可日	シンガポールの銀行休業日においては、お申込みを受付けません。
申込締切時間	原則として午後3時まで（販売会社により異なる場合がありますので、詳細につきましては販売会社までお問い合わせください。）
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求を制限する場合があります。
購入・換金 申込受付の中止 及び取消し	委託会社は、購入・換金の申込金額が多額であると判断した場合、主要投資対象とする投資信託証券の申込み・解約及び換金の停止ならびに基準価額算出の中止、取引所における取引の停止等その他やむを得ない事情があると判断したときは、購入・換金の受付を中止すること、及び既に受付けた当該申込みの受付を取り消すことができるものとします。
信託期間	2021年8月10日まで（設定日 2011年10月7日）
繰上償還	主要投資対象とする投資信託証券が償還する場合、受益権の残存口数が10億口を下回ることとなった場合、繰上償還することが受益者のため有利であると認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、繰上償還させることがあります。
決算日	原則、毎月10日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	毎決算時（年12回）、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。 ※ 分配金を受取る一般コースと、分配金を再投資する自動けいぞく投資コースがあります。販売会社によっては、どちらか一方のみのお取扱いとなる場合があります。各コースのお取扱いにつきましては、販売会社までお問い合わせください。
信託金の限度額	1,000億円
公告	委託会社のホームページ(https://www.sompo-am.co.jp/)に掲載します。
運用報告書	原則、毎年2月、8月の決算時及び償還時に、交付運用報告書を作成し、あらかじめお申し出いただいたご住所に販売会社を通じて交付します。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA（ニーサ）」の適用対象です。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。

●委託会社受賞歴

当社はR&Iファンド大賞2018の「投資信託／総合部門」において外国債券総合「優秀賞」を受賞しました。

「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。「投資信託／総合部門」の各カテゴリーは、受賞運用会社の当該ファンドの平均的な運用実績を評価したもので、受賞運用会社の全ての個別ファンドについて運用実績が優れていることを示すものではありません。

アジア・ハイ・イールド債券ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジなしコース

Ⅰ ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
購入時手数料	購入価額に 3.85% (税抜3.5%) を上限 として販売会社が定めた手数料率を乗じた額です。 ※ 詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。	販売会社によるファンドの商品説明・投資環境の説明・事務処理等の対価
信託財産留保額	換金請求受付日の翌営業日の基準価額に 0.3% を乗じた額です。	
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
運用管理費用 (信託報酬)	当ファンドの日々の純資産総額に対して 年率1.012% (税抜0.92%) を乗じた額です。 運用管理費用(信託報酬)は、毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期末または信託終了のときに、ファンドから支払われます。	運用管理費用(信託報酬)＝運用期間中の基準価額×信託報酬率
	委託会社 年率0.35% (税抜)	ファンドの運用の対価
	販売会社 年率0.54% (税抜)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
	受託会社 年率0.03% (税抜)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
投資対象とする投資信託証券の信託報酬等	年率0.77% ※ 年間最低報酬額等がかかる場合は、純資産総額等により年率換算で上記の信託報酬率を上回ることがあります。 ※ 上記のほか、投資信託証券の設立・開示に関する費用等(監査費用、弁護士費用等)、管理報酬、売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税等がかかります。	投資対象とする投資信託証券の運用の対価、管理報酬等
実質的な運用管理費用 (信託報酬)	当ファンドの純資産総額に対して 概ね1.782% (税込・年率)程度 となります。 ※ 当ファンドの運用管理費用(信託報酬)年率1.012%(税抜0.92%)に投資対象とする投資信託証券の信託報酬等(年率0.77%)を加算しております。投資信託証券の組入状況等によって、当ファンドにおける、実質的に負担する運用管理費用(信託報酬)は変動します。	
その他の費用・手数料	以下の費用・手数料等が、ファンドから支払われます。 ・ 監査費用 ・ 売買委託手数料 ・ 外国における資産の保管等に要する費用 ・ 信託財産に関する租税 等 ※ 上記の費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 監査費用： 監査法人に支払うファンド監査にかかる費用 ・ 売買委託手数料： 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 ・ 保管費用： 有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用

● 当該手数料等の合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間、売買金額等に応じて異なりますので、表示することができません。

アジア・ハイ・イールド債券ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジなしコース

●税金

- ・税金は表に記載の時期に適用されます。
- ・以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時期	項目	税金
分配時	所得税及び地方税	配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%
換金（解約）時 及び償還時	所得税及び地方税	譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

- ※ 少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA（ニーサ）」をご利用の場合
毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- ※ 法人の場合は上記とは異なります。
- ※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- ※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

●販売会社（順不同、○は加入協会を表す）

販売会社名	区分	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業協会	備考
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○	
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○		
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○	○	○		
立花証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第110号	○		○		
第四北越証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第128号	○				
日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	○		○		
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○	
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○		○	○	
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○			○	
株式会社みずほ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第6号	○		○	○	※3
みずほ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第34号	○	○	○		※3
ソニー銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第578号	○		○	○	
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○		
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○				

<備考欄の表示について>

- ※1 記載の日付より新規お取扱いを開始します。
- ※2 記載の日付以降の新規お取扱いを行いません。
- ※3 新規のお取扱いを行っておりません。

<ご留意事項>

- ・上記掲載の販売会社は、今後変更となる場合があります。
- ・上記掲載以外の販売会社において、お取扱いを行っている場合があります。
- ・詳細は販売会社または委託会社までお問い合わせください。

●委託会社・その他の関係法人

委託会社	ファンドの運用の指図を行います。 SOMPOアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者（関東財務局長（金商）第351号） 加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会 ホームページ： https://www.sompo-am.co.jp/ 電話番号：0120-69-5432 ●リテール営業部
受託会社	ファンドの財産の保管及び管理を行います。 株式会社りそな銀行
販売会社	受益権の募集の取扱、販売、一部解約の実行の請求の受付、収益分配金の再投資ならびに収益分配金、償還金および一部解約金の支払等を行います。

当資料のご利用にあたっての注意事項

- ◆ 当資料は、SOMPOアセットマネジメント株式会社により作成された販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。当ファンドの購入のお申込みの際には販売会社より投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡しいたしますので、必ずお受け取りの上、詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご確認ください。
- ◆ 当ファンドは、値動きのある証券に投資しますので、基準価額は大きく変動します。また、外貨建て資産に投資する場合には、為替リスクがあります。投資信託は、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。
- ◆ 信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様には帰属します。投資に関する最終決定はご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。
- ◆ 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- ◆ 登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- ◆ 当資料に記載されているグラフ・数値等は過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。分配金に関しては、運用状況によっては、分配金額が変わる場合、或いは分配金が支払われない場合があります。
- ◆ ファンドマネージャーのコメント、方針、その他の予測数値等については、作成時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等により、当該運用方針やその他予測数値等が変更される場合があります。また、記載した内容は、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- ◆ 当資料に記載されている各数値は四捨五入して表示していることがありますので、誤差が生じている場合があります。
- ◆ 当資料に記載されている各事項につきましては、正確性を期しておりますが、その正確性を保証するものではありません。当資料に記載の当社の意見等は予告なく変更することがあります。